

地域公共交通計画の取組・評価について

令和 7 年 1 2 月 1 8 日
佐倉市地域公共交通会議

計画の達成状況を評価する指標（主なもの）

指標		初期値 2023(R5)年度	目標値 2030(R12)年度	現状値 2024(R6)年度
市内を運行する路線バス利用者数 (1万人未満切捨て)		474万人 (2022年度)	474万人	510万人(※) (2023年度)
コミュニティバス利用者数(5ルート) (100人未満切捨て)		135,400人	151,100人	156,600人
タクシー利用者数(市内営業所) (100人未満切捨て)		479,900人	539,900人	524,000人
公共交通の満足度 (市民意識調査)		32.7%	初期値以上	39.7%
バスの 収支率	コミュニティバス	18.3%	初期値以上	16.8%
	神門線(馬渡坂上・西御門)	19.6%	初期値以上	19.4%
	高崎線	7.2%	初期値以上	7.0%

※新規対象路線を除くと458万人

令和7年度の実施事業

コミュニティバス(5ルート)の運行や生活交通路線維持費補助について継続して実施しているほか、下記の取組を実施

●公共交通継続支援事業

1. 公共交通事業継続支援金（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用）

エネルギー価格の高騰など、厳しい経営状況にある公共交通事業者の事業支援を行い、公共交通網の維持・継続を図るため、一定の方法により算出した額の支援金を交付。

予算額：26,333千円

対象者数：19事業者（うち福祉限定タクシー13者）

2. 公共交通支援事業補助金（二種免許取得費用助成）

対象事業者の従業員が二種免許を取得するための費用について、当該法人が設けた制度に基づきその費用を負担する場合に、当該法人に補助金を交付。

予算額：2,700千円

補助率：2分の1

令和7年度の実施事業（関連事業）

公共交通施策と関連するものとして、高齢者の通院や買物等の外出支援を図るため、タクシー利用助成券を交付する事業を福祉部において実施。

●高齢者外出支援事業（高齢者福祉課）

高齢者の通院や買い物等の外出支援を図るため、タクシー利用助成券を交付。

（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用）

対象者：75歳以上の市民（約36,000人）

助成額：500円×4回

予算額：38,872千円



居住地区ごとの利用状況など、データを共有・活用し、南部地域や点在する交通空白地域など、既存の公共交通網を補完する検討材料としていく。

次年度以降に向けて

- コミュニティバスの運行継続に向けて
 - 乗務員不足の大きな改善が見込まれない中で、持続可能な運行体制を整えていくため、運行日数や時間帯等の変更も視野に入れて運行事業者と協議。
 - 併せて、交通空白地域対策として赤字補填を実施している路線のあり方を検討。
- 定時定路線バスを補完・代替する手法の研究
 - デマンド型乗合タクシーや自家用有償運送(公共ライドシェア)、タクシーチケット助成など、路線バスを補完・代替する手法の研究・検討を継続。
 - ⇒現状のコミュニティバスの需要をカバーできるようなキャパシティの確保は困難。
 - 採算面からは、定路線型よりも厳しいと考えられる。
 - 一般タクシーの利用に影響が出ている事例も。